

西東京市若者調査 調査項目(案)

1 調査の主旨

子育て・子育てワイワイプラン（令和7年度から令和16年度まで）の策定にあたり、新たに包含される「子ども・若者計画」の検討のため、若者世代を取り巻く現状及び課題を把握することを目的として行う。

2 対象・調査方法

・対象：在住の16歳から29歳までの男女4,000人（無作為抽出）

・調査方法：調査案内をはがきで送付する。はがきに記載したURLから回答フォームにアクセスする。

3 調査項目

項目	設問と選択肢	分析の視点	国調査
基本属性	1 年齢		○
	2 現在の仕事（1つに○） ①生徒・学生 ②正社員・正規職員・会社役員 ③嘱託・契約社員・派遣社員 ④パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 ⑤自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランス含む） ⑥無職（仕事を探している） ⑦無職（仕事を探していない）		○
	3 あなたと同居している方（あてはまるものすべてに○）※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、その他をお選びください。 ①父 ②母 ③きょうだい ④祖父母 ⑤あなたの配偶者（事実上婚姻と同様の状態にある方を含む） ⑥あなたの子 ⑦その他親族 ⑧その他（ ） ⑨同居している人はいない（単身世帯）	—	○
	4 あなたが西東京市に住み始めたきっかけは何ですか。（1つに○） ①元から住んでいる（西東京市で育った） ②家族の都合（転勤、介護などによる） ③入学・進学 ④就職・転職 ⑤結婚・離婚 ⑥出産 ⑦その他（ ）		
居場所	5 終業後や休日はどこで過ごすことが多いですか。（あてはまるものすべてに○） ①自分の家 ②祖父、祖母、親戚の家 ③友達の家 ④塾や習い事、スポーツクラブなど ⑤児童館・公民館・図書館・住吉会館など市の施設 ⑥学校（部活などを含む） ⑦近所の公園、広場 ⑧アルバイト、仕事先 ⑨ショッピングモール、駅ビルなどの商業施設 ⑩ゲームセンター、カラオケなどのアミューズメント施設 ⑪インターネット空間（SNS、Youtubeやオンラインゲームなど） ⑫その他（ ）	現在の居場所の把握	
	6 終業後や休日を過ごすのに、どのような施設や場所が市内にあると良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○） ①友人や仲間と気軽にしゃべりができる場所 ②一人でゆっくりと、静かに過ごせる施設 ③大きな公園や広場 ④体育館や運動場などのスポーツができる場所 ⑤趣味（音楽やダンスなど）を仲間と楽しめる場所 ⑥ボランティア活動ができる場所 ⑦勉強・自習ができる場所 ⑧地域のいろいろな年代の人と交流できる場所 ⑨フリースペース ⑩商業施設やアミューズメント施設 ⑪その他（ ） ⑫特に必要ない	居場所として求める施設や場所の把握	
他者との関わり方	7 周囲の人とあなたのかかわりは、現在どのようなものですか。（(a)～(d)について、①～④または①～⑤の1つに○） (a)家族・親族とのかかわり (b)学校で出会った人（現在通っている学校の友人・かつての同窓生など）とのかかわり (c)地域の人（近所の人、町内会などの友人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）とのかかわり (d)職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事関係で知り合った人など）とのかかわり ①会話やメールをよくしている ②何でも悩みを相談できる人がいる ③困ったときは助けてくれる ④他の人には言えない本音を話せることがある ⑤仕事・アルバイトの経験はない ※(d)のみの選択肢	居場所の認識について把握	○
社会参加	8 あなたが参加している、まちづくり活動（仕事以外の市内で行っている活動、地域の活動や行事）などは何ですか。（あてはまるものすべてに○） ①子ども食堂やフリースクールなどのボランティア ②地域イベント・コミュニティカフェや交流イベントの運営 ③介護、障害者、農業などの支援活動 ④国際交流活動 ⑤地域清掃活動 ⑥地域安全パトロール・交通安全活動 ⑦防災・減災活動 ⑧スポーツ団体での指導 ⑨SNSで地域の魅力などを発信 ⑩その他（ ） ⑪どれも参加していない		
	9-1 参加している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）（質問8において⑪以外を選択した方が回答） ①身近な地域の役に立てるから ②地域での人づきあいが好きだから ③趣味や自分の好きな活動で楽しい時間を過ごせるから ④人とのつながりを増やせるから ⑤社会に貢献できるから ⑥困っている人や誰かの力になれるから ⑦自分の知識やスキルを生かせるから ⑧自分の成長やキャリアアップにつながるから ⑨進学、就職などで有利になるから ⑩その他（ ）	社会参加の現状を把握	
	9-2 参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）（質問8において⑪を選択した方が回答） ①学業や仕事で忙しいから ②家族や親族の介護、看護などで忙しいから ③趣味など自分の好きなことを優先したいから ④活動事例や団体などの情報がわからないから ⑤参加する方法がわからないから ⑥一緒に参加する仲間がいないから ⑦先に活動している人の輪に入れるか不安だから ⑧自分に何ができるかわからないから ⑨特別な知識やスキルがないと参加しづらいから ⑩その他（ ）		
	10 これまで以上に、まちづくり活動（仕事以外の市内で行う活動、地域の活動や行事）に参加する若者が増えるためには、何が重要だと思いますか。（最大3つに○） ①事前申込なしで短時間でも体験できる機会 ②活動中の人や興味のある人達が集まる交流の機会 ③個人で参加できる機会 ④自分の知識やスキルが生かせること ⑤活動のアドバイスが受けられること ⑥打合せなどができるフリースペースがあること ⑦行政や地域から課題や一緒に取り組みたいことが示されること ⑧行政や地域に対して意見を伝える機会があること ⑨活動が表彰される仕組み ⑩交通費や会場使用料などの経費の支援 ⑪わからない ⑫その他（ ）	若者がまちづくりに参加しやすくなるための仕組みを把握	
将来実生像度観	11 あなたは、今、幸せだと思いますか。（1つに○） ①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない	現在の人生観・充実感の把握	○
	12 あなたは、自分の将来に希望を持っていますか。（1つに○） ①希望がある ②どちらかといえば希望がある ③どちらかといえば希望がない ④希望がない	将来への希望の把握	○

項目	設問と選択肢	分析の視点	国調査
相談・支援	13 あなたは、現在不安なことや悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○) ①学校の勉強や成績のこと ②進学・就職のこと ③仕事や職場のこと ④家族関係のこと ⑤友人や仲間との人間関係のこと ⑥恋愛や交際相手、結婚のこと ⑦体調不良、健康や体力のこと ⑧性格や癖のこと ⑨収入や生活費、奨学金の返済などお金のこと ⑩漠然とした不安 ⑪その他() ⑫特に不安なことや悩みはない	若者が抱えている悩み、社会的な課題の把握	
	14 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) ①相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある ②相手が同世代である ③匿名で相談できる ④曜日・時間帯を気にせず相談できる ⑤相談できる場所が自宅から近い ⑥相手が自宅に来てくれる ⑦相手先が公的な支援機関である ⑧相手先が民間の支援団体(NPO)などである ⑨相手がカウンセラーなど心理学の専門家である ⑩日本語以外の言葉で相談ができる ⑪その他() ⑫誰にも相談したり助けてもらったりしようと思わない	困難を抱えた若者の相談先の有無、支援方法の把握	
	15 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を利用したまたは利用したいと思いますか。 a)児童館・児童センター b)子ども相談室 ほっとルーム c)子どもLINE相談 いこいーな窓口@西東京 d)教育相談・幼児相談 e)子ども家庭支援センター「のどか」 f)児童相談所 g)スクールカウンセラー h)スクールソーシャルワーカー i)教育支援センター(適応指導教室)「スキップ教室」 j)不登校ひきこもり相談室「ニコモルーム」 k)体験フリースペース「ニコモテラス」 について、①～③の1つに○ ①利用した・利用したい ②利用したくない ③知らない	育成支援機関の認知度・利用状況・利用希望の把握	○
意見表明	16-1 あなたは、西東京市の制度や施策について、自分の考えを伝えることができますか。(1つに○) ①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない	意見表明の現状の把握	
	16-2 そう思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (質問16-1において③④を選択した方が回答) ①意見を伝える方法がわからないから ②市に意見を伝えても反映されないと思うから ③意見を言っても、具体的な話し合いには参加できないと思うから ④意見を言っても、子どもや若者の気持ちが分からないと思うから ⑤自分の意見に自信がないから ⑥市の制度や施策について知らないから ⑦市に伝えたい意見がないから ⑧その他()		
	17 どのような方法や手段があれば、あなたは市の制度や施策について、意見を伝えやすいと思いますか。(最大3つに○) ①様々な人と意見交換(ワークショップなど)をしながら伝える ②LINEやSNSなどのオンラインで伝える ③アンケートに答える ④意見を伝える相手がそのような人が事前にわかる ⑤伝えた意見がどのように扱われるかわかる ⑥若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる ⑦意見を伝える時に信頼できる人がそばにいる ⑧自分のことや伝えた内容が公開されない(秘密が守られる) ⑨知人や家族などがいないほうが話しやすい ⑩意見を伝えることでクーポンや謝礼などをもらえる ⑪その他()	意見表明の希望の把握	
若者支援	18 若者のために、西東京市に必要な取組は何だと思いますか。(最大3つに○) ①イベントやボランティアなどの自主的な活動ができる場所や機会の充実 ②イベントやボランティアなどの自主的な活動の相談や財政的支援 ③自分の意見を発表できる機会を増やす ④スポーツを通じて地域とつながることができる機会を増やす ⑤自由に過ごせる場所を増やす ⑥参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報提供 ⑦文化の異なる人々がお互いを理解し、助け合える取組の充実 ⑧二ト、ひきこもり、不登校や困難を抱える子ども・若者の支援の充実 ⑨気軽に相談できる場所や機会の充実 ⑩就職に向けた相談やサポート体制の充実 ⑪技術や資格取得の支援 ⑫お金のことを心配することなく学べる機会の充実(学び直し含む) ⑬その他() ⑭特にない	若者が希望する支援の把握	
結婚・出産	19 子育てしやすい社会には、どのような支援や取組が必要だと思いますか。(最大3つに○) ①子ども・子育てに関する社会の理解促進 ②公共・民間施設での育児サービスの充実 ③地域での子育て支援の促進(地域ボランティア等) ④子育て中の父親・母親同士が交流できるきっかけづくり ⑤保育所など子どもの預け先の充実 ⑥補助・手当等による安定した家計を営めるような支援 ⑦多子の場合に補助・手当等の充実 ⑧行政による子育て支援の情報発信 ⑨その他() ⑩特にない	施策検討に活用	
子ども条例	20 西東京市では、今と未来を生きるすべての子どもが健やかに育つ環境を整えるために、「西東京市子ども条例」※をつくりました。あなたは、「西東京市子ども条例」を知っていますか。(1つに○) ①内容も知っている ②名前は聞いたことがある ③知らない	「西東京市子ども条例」の認知度	

※「西東京市子ども条例」では、まち全体で子どもの育ちを支える、こども(市内に在住、在勤、在学その他市で活動する18歳未満の全ての人)にやさしいまち西東京市をつくっていくことを示しています。そのために市では、主に7つの取組を進めています。

- ①虐待を防ぎます。
- ②いじめなどのこどもの権利を侵害する問題に対応します。
- ③子どもの貧困を防ぎます。
- ④心とからだの健康と安全な環境をつくれます。
- ⑤子どもが安心して遊んだり、学んだり、活動したりして過ごせる居場所づくりをします。
- ⑥社会の一員である子どもの考えや意見を大切にします。
- ⑦子どもの権利について広め、みんながお互いを大切にできるようにします。